

平成30年3月美馬市議会定例会議事日程（第3号）

平成30年3月13日（火）午前10時開議

日程第 1 会議録署名議員の指名について

- 日程第 2 議案第 1号 美馬市公共施設等総合管理基金条例の制定について  
議案第 2号 美馬市まちづくり基金条例の制定について  
議案第 3号 美馬市個人情報保護条例及び美馬市情報公開条例の一部改正について  
議案第 4号 美馬市印鑑条例の一部改正について  
議案第 5号 美馬市交流センター条例の一部改正について  
議案第 6号 美馬市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例等の一部改正について  
議案第 7号 美馬市特別職の給料の特例に関する条例の一部改正について  
議案第 8号 美馬市職員の給与に関する条例の一部改正について  
議案第 9号 美馬市税条例の一部改正について  
議案第10号 美馬市体育館設置条例の一部改正について  
議案第11号 美馬市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について  
議案第12号 美馬市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について  
議案第13号 美馬市立小規模保育所条例の一部改正について  
議案第14号 美馬市国民健康保険条例の一部改正について  
議案第15号 美馬市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について  
議案第16号 美馬市介護保険条例の一部改正について  
議案第17号 美馬市包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部改正について  
議案第18号 美馬市放牧場条例の一部改正について  
議案第19号 美馬市商工観光業振興条例の一部改正について  
議案第20号 穴吹交流宿泊施設条例の一部改正について  
議案第21号 穴吹貸別荘施設条例の一部改正について  
議案第22号 美馬市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について  
議案第23号 美馬市消防事務手数料条例の一部改正について  
議案第24号 美馬市脇町老人福祉センター条例の廃止について  
議案第28号 平成30年度美馬市一般会計予算  
議案第29号 平成30年度美馬市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算  
議案第30号 平成30年度美馬市国民健康保険特別会計予算

- 議案第31号 平成30年度美馬市後期高齢者医療特別会計予算
- 議案第32号 平成30年度美馬市介護保険特別会計予算
- 議案第33号 平成30年度美馬市公共下水道事業特別会計予算
- 議案第34号 平成30年度美馬市農業集落排水事業特別会計予算
- 議案第35号 平成30年度美馬市一の森ヒュッテ事業特別会計予算
- 議案第36号 平成30年度美馬市簡易水道事業特別会計予算
- 議案第37号 平成30年度美馬市小水力発電事業特別会計予算
- 議案第38号 平成30年度美馬市水道事業会計予算
- 議案第39号 平成30年度美馬市工業用水道事業会計予算
- 議案第40号 工事請負契約の締結について
- 議案第42号 美馬市脇町老人福祉センターの指定管理者の指定期間の変更について
- 議案第43号 脇町劇場及び吉田家住宅の指定管理者の指定期間の変更について
- 議案第44号 美馬市伝統工芸体験館の指定管理者の指定期間の変更について
- 議案第45号 脇町劇場等の指定管理者の指定について
- 議案第46号 債権の放棄について

日程第 3 議案第48号 平成29年度美馬市一般会計補正予算（第7号）

日程第 4 開会中の継続調査について

日程第 5 職員派遣の件について

平成30年3月美馬市議会定例会会議録（第3号）

---

◎ 招集年月日 平成30年3月13日

---

◎ 招集場所 美馬市議会議場

---

◎ 開 議 午前10時00分

---

◎ 出席議員

1番	藤野 克彦	2番	浪越 憲一	3番	都築 正文
4番	田中 義美	5番	中川 重文	6番	林 茂
7番	武田 喜善	8番	郷司千亜紀	10番	井川 英秋
11番	西村 昌義	12番	国見 一	13番	久保田哲生
14番	片岡 栄一	15番	原 政義	16番	川西 仁
17番	三宅 共	18番	谷 明美	19番	前田 良平
20番	武田 保幸				

---

◎ 欠席議員

なし

---

◎ 地方自治法第121条の規定により説明のために出席した者の職氏名

市長	藤田 元治
副市長	加美 一成
副市長	七條 浩一
戦略監	浅野誠一郎
美来創生局長	上谷 敏也
企画総務部長	中川 貴志
保険福祉部長	四宮 明
市民環境部長	山田 一弘
経済建設部長	奥村 敏彦
水道部長	武田 光男
会計管理者	平井 佳史
消防長	武田 浩二
保険福祉部理事	川口 種満
美来創生局理事	矢田 孝志
木屋平総合支所長	江口 文之
企画総務部次長（企画政策課長事務取扱）	吉田 正孝
企画総務部秘書課長	渡邊 晴樹

代表監査委員  
教育長  
副教育長

喜多 輝光  
光山 利幸  
緒方 利春

---

◎ 本会議に職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長  
議会事務局次長  
議会事務局主幹

住友 礼子  
南 佳幸  
篠原 純子

---

◎ 議事日程

議長は、議事日程を別紙のとおり報告した。

---

◎ 会議録署名議員の氏名

議長は会議録署名議員に次の3名を指名した。

14番 片岡 栄一 議員

15番 原 政義 議員

16番 川西 仁 議員

開議 午前10時00分

◎議長（久保田哲生議員）

皆さん、おはようございます。

ただいまの出席議員は全員であります。定足数に達しておりますので、本日の会議を開きます。

日程に入る前に、諸般の報告をいたします。

市長より、議案第48号 平成29年度美馬市一般会計補正予算（第7号）が提出されております。後程、提案理由の説明をいただくこととしておりますので、ご報告をいたしておきます。

以上で、諸般の報告を終わります。

それでは、本日の日程に入ります。本日の議事日程は、お手元にご配付の日程表のとおりでありますので、よろしく願いをいたします。

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。会議録署名議員は、会議規則第88条の規定によりまして、14番 片岡栄一君、15番 原政義君、16番 川西仁君を指名いたします。

次に、日程第2、議案第1号、美馬市公共施設等総合管理基金条例の制定についてから議案第24号、美馬市脇町老人福祉センター条例の廃止についてまでの24件、議案第28号、平成30年度美馬市一般会計予算から議案第40号、工事請負契約の締結についてまでの13件、及び議案第42号、美馬市脇町老人福祉センターの指定管理者の指定期間の変更についてから議案第46号、債権の放棄についてまでの5件、合わせて42件を一括して、議題といたします。

この件につきましては、所管の常任委員会に付託しておりますので、各委員長の報告を求めます。

開催順をお願いをいたします。

初めに、福祉文教常任委員長、林茂君。

◎6番（林 茂議員）

6番、林。

◎議長（久保田哲生議員）

6番、林茂君。

[6番 林 茂議員 登壇]

◎6番（林 茂議員）

皆さん、おはようございます。

ただいま、議長のご指名がございましたので、福祉文教常任委員会の審査結果につきましてご報告を申し上げます。

本委員会は今期定例会において付託されました議案第10号、美馬市体育館設置条例の一部改正についてから議案第17号、美馬市包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部改正について、及び議案第24号、美馬市脇町老人福祉センター条例の廃止についての条例案件9件、議案第28号、平成30年度美馬市一般会計予算のうち所管分及

び議案第30号、平成30年度美馬市国民健康保険特別会計予算から議案第32号、平成30年度美馬市介護保険特別会計予算までの予算案件4件、議案第40号、工事請負契約の締結について及び議案第42号、美馬市脇町老人福祉センターの指定管理者の指定期間の変更についてまでのその他案件2件、以上の合計15件について、審査のため去る3月5日に委員会を開催いたしました。

出席の委員は私を含め7名であります。

付託されました議案の審査に当たり、詳細なる説明を求め、慎重に審査をいたしました結果、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

それでは、質疑の内容について、その一部を報告いたします。

まず、議案第28号、平成30年度美馬市一般会計予算のうち所管分の中から、民生費について、「生活保護に関する扶助費が、生活困窮者自立促進支援事業を行っているにもかかわらず、前年比較して下がっていない。原因をどのように考えるか」と委員から質疑がありました。理事者からは、「美馬市では、社会福祉協議会に事業委託して、自立相談支援事業などの生活困窮者自立促進支援事業を行い、新規プランや継続プランを組み、支援を行っているが、年金をかけていなかったり、仕事をリタイヤしたが預貯金がなかったりと生活に困窮する高齢者世帯が増えてきたことが主な原因であると考え。扶助費が下がらないのは全国的な傾向で、美馬市においても平成22年度から徐々に上がってきているが、引き続き市と社会福祉協議会等関係機関と連携を密にして自立支援事業を実施していきたい」との答弁がありました。

続いて、議案第28号、平成30年度美馬市一般会計予算のうち所管分の中から、教育費について、「学校給食費が前年比較して増額になったのはなぜか」と委員から質疑がありました。理事者からは、「備品等の老朽化による更新費用と美馬西部学校給食センター組合の解散に伴い、穴吹学校給食センターで調理する美馬町地区の小中学校分の調理食数が増えるため、施設改修費及び備品等購入費用が増加したことが主な要因である。美馬町地区の小中学校分の調理食数増加により、現在の倍以上の約1,000食を同給食センターで対応しなければならず、衛生管理基準において現施設では不十分。最低限の衛生管理を維持する必要があるため、スペースの確保と約1,000食に対応できる備品等が必要である」との答弁がありました。

続いて、議案第40号、工事請負契約の締結については、委員から「穴吹地区認定こども園整備事業新築工事に係る入札資格など入札に関する詳細は」との質疑がありました。理事者からは、「建築一式工事の総合評定値が全国大手の四国内に営業所がある業者は1,300点以上、県内業者は1,000点以上あり、工場、倉庫以外で鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造1,400平米以上の施工実績がある者が入札資格を得る。入札には県内企業が参加し、一般競争入札の総合評価落札方式を採用して、配置予定技術者の施工能力、市内下請や市内調達資材をどれだけ使うかなどの地域貢献度や、事業所の営業拠点がどこにあるのかの地域精通度などを評価項目として審査を行った結果、評価値が一番高い事業所が落札した」との答弁がありました。

また、当委員会は調査未了の事件について閉会中の継続調査を決定し、議長まで申出書

を提出いたしました。

以上で、福祉文教常任委員会の委員長の報告を終わります。どうかよろしく願いいたします。

◎議長（久保田哲生議員）

次に、産業常任委員会委員長、藤野克彦君。

◎1番（藤野克彦議員）

議長、1番。

◎議長（久保田哲生議員）

1番、藤野克彦君。

[1番 藤野克彦議員 登壇]

◎1番（藤野克彦議員）

それでは、議長のご指名がございましたので、産業常任委員会の審査結果につきまして、ご報告申し上げます。

本委員会は、今期定例会において付託されました議案第18号、美馬市放牧場条例の一部改正についてから議案第22号、美馬市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正についてまでの条例案件5件、議案第28号、平成30年度美馬市一般会計予算のうち所管分、議案第35号、平成30年度美馬市一の森ヒュッテ事業特別会計予算から議案第39号、平成30年度美馬市工業用水道事業会計予算までの予算案件6件、議案第43号、脇町劇場及び吉田家住宅の指定管理者の指定期間の変更についてから議案第46号、債権の放棄についてまでのその他案件4件、以上合計15件について、審査のため去る3月6日に委員会を開催いたしました。

出席の委員は、私を含め6名であります。

付託されました議案の審査に当たり、詳細なる説明を求め、慎重に審査をいたしました結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

それでは、質疑の内容について、その一部を報告いたします。

まず、議案第28号、平成30年度美馬市一般会計予算のうち所管分では、委員から「労働費の委託料3件について、どういった内容か」との質疑がありました。理事者からは、『美馬で働く』ガイドブック作成業務委託料については、平成28年度に市内企業60社を掲載したガイドブックを作成し、関西圏の大学、市内の高校へ送付するとともに、成人式や就職ガイダンスの参加者に配付した。参加者や配布先からは、市内にどのような企業があるのかよく分かったと好評を得ており、今回ガイドブックを更新し、市内企業のPRを更に図るものである。また、進出（予定）企業×地元中・高生×Uターン就職検討者交流事業委託料は、美馬市内のサテライトオフィス及び美馬市へ進出予定の企業と地元中・高生やUターンを希望している方々との交流事業であり、ワークショップの開催やフィールドワーク、開発合宿等を想定している。進出（予定）企業による地元高校生就労スキルアップ研修事業委託料は、地元高校生によるICT技術のスキルアップ研修やプログラミング研修などを企業と合同で実施していくものである。これらの事業の実施により、企業は優秀な人材の確保につながり、参加者にとっては、Uターンや就職の契機となった

り、いろいろなスキル取得の機会となるものである」との答弁がありました。

次に、商工費では、委員から「移住創業促進事業補助金とはどのようなものか」との質疑がありました。理事者からは、「市外に住所がある個人や企業が、美馬市内に住所を移し、起業創業される場合に対して補助を行う。設備投資した金額の3分の2を市が補助するもので、1件当たりの上限は100万円である。30年度は、4月にホームページや金融機関等を通じて募集を行う予定である」との答弁がありました。

次に、河川管理費では、委員から「吉田谷川排水ポンプ施設整備事業とはどのような事業か」との質疑がありました。理事者からは、「つるぎ町小山北地区において、つるぎ町が行う企業誘致予定地の敷地造成により、豪雨時における浸水面積が約2ヘクタール増加する見込みである。このため、排水ポンプ施設を整備することにより、浸水面積の軽減を図り、周辺地域を水害から守るものである」との答弁がありました。

また、当委員会は、調査未了の事件について、閉会中の継続調査を決定し、議長まで申出書を提出いたしました。

以上で、産業常任委員会委員長報告を終わります。

◎議長（久保田哲生議員）

次に、総務常任委員会委員長、中川重文君。

◎5番（中川重文議員）

5番、中川。

◎議長（久保田哲生議員）

5番、中川重文君。

[5番 中川重文議員 登壇]

◎5番（中川重文議員）

ただいま、議長のご指名がございましたので、総務常任委員会の審査結果をご報告いたします。

本委員会は、平成30年3月定例会において付託されました議案第1号、美馬市公共施設等総合管理基金条例の制定についてから議案第9号、美馬市税条例の一部改正について及び議案第23号、美馬市消防事務手数料条例の一部改正についての条例案件10件、議案第28号、平成30年度美馬市一般会計予算のうち所管分、議案第29号、平成30年度美馬市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算、議案第33号、平成30年度美馬市公共下水道事業特別会計予算及び議案第34号、平成30年度美馬市農業集落排水事業特別会計予算の予算案件4件、以上合わせて14議案について、審査のため、去る3月8日、委員会を開催いたしました。

出席の委員は、私を含めて6名であります。

付託されました議案審査に当たり、詳細なる説明を求め、慎重なる審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。

それでは、質疑の内容について、その一部を報告いたします。

まず、委員から「議案第5号、美馬市交流センター条例の一部改正についてでは、主に美馬町で廃校となった五つの小学校の名称変更とのことであるが、地域活動センターの活



動室とはどのような部屋か。また、企業に貸し出しする場合の使用料は」との質疑がありました。理事者からは、「各地域交流センターの教室、家庭科室、理科室など、あいている部屋は地域の方々の活動を中心に使っていただくために活動室という名称に変更するものである。また、企業に貸し出す場合は、廃校施設利活用事業実施要項に基づき、一定期間の契約により無料で貸し付けを行うこととしている」との答弁がありました。

次に、議案第28号、平成30年度美馬市一般会計予算のうち所管分では、委員から「地域交流センター費の落成式典開催業務委託料及び市民ホールオープン記念イベント開催業務委託料の開催内容はどのようなものか」との質疑がありました。理事者からは、「落成式典開催業務委託料については、本年5月12日にオープンを予定している地域交流センターにおいて全体の落成を記念する式典を、関係者を招待し開催したいと考えており、その経費である。また、市民ホールオープン記念イベント開催業務委託料については、翌日の5月13日に市民ホールにて音楽イベントを開催したいと考えており、その経費である」との答弁がございました。

次に、委員から「火葬場費の美馬西部共立火葬場組合負担金の美馬市とつるぎ町の負担割合はどのようになっているのか」との質疑がありました。理事者からは、「美馬西部共立火葬場組合の運営負担金は全体で2,700万円であり、内訳は均等割が5%、利用割が95%になっている。また、利用は平成28年度の実績で、美馬市は130件、つるぎ町が221件の合計351件であり、美馬市の占める割合は37%となっている。従って、美馬市の負担額は、均等割分が67万5,000円、利用割分が37%の949万円であり、合計1,016万5,000円となっている」との答弁がございました。

以上、質疑の内容と答弁の一部報告であります。

また、当委員会は調査未了の事件について閉会中の継続調査を決定し、議長まで申出書を提出いたしました。

これで総務常任委員会の委員長報告を終わります。どうかよろしく申し上げます。

#### ◎議長（久保田哲生議員）

以上で、各常任委員会委員長の報告は終わりました。

これより、ただいまの各委員長報告に対する質疑に入ります。

ただいまのところ、質疑の通告はありませんので、質疑なしと認め、委員長報告に対する質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

ただいまのところ、討論の通告はありませんので、討論なしと認め、討論を終結いたします。

これより採決いたします。

まず、議案第1号、美馬市公共施設等総合管理基金条例の制定についてから議案第24号、美馬市脇町老人福祉センター条例の廃止についてまでの24件を一括して採決いたします。

議案第1号から議案第24号までの24件については、委員長報告はいずれも原案可決であります。

お諮りいたします。議案第1号から議案第24号までの24件については、各委員長報告のとおり決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

◎議長（久保田哲生議員）

異議なしと認めます。よって、議案第1号から議案第24号までの24件については、原案のとおり可決されました。

次に、議案第28号、平成30年度美馬市一般会計予算について、採決いたします。

議案第28号については、各委員長報告はいずれも原案可決であります。

お諮りいたします。議案第28号については、各委員長報告のとおり決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

◎議長（久保田哲生議員）

異議なしと認めます。よって、議案第28号については、原案のとおり可決されました。

次に、議案第29号、平成30年度美馬市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算から議案第39号、平成30年度美馬市工業用水道事業会計予算までの11件を一括して採決いたします。

議案第29号から議案第39号までの11件については、各委員長報告はいずれも原案可決であります。

お諮りいたします。議案第29号から議案第39号までの11件については、各委員長報告のとおり決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

◎議長（久保田哲生議員）

異議なしと認めます。議案第29号から議案第39号までの11件については、原案のとおり可決されました。

次に、議案第40号、工事請負契約の締結について及び議案第42号、美馬市脇町老人福祉センターの指定管理者の指定期間の変更についてから、議案第46号、債権の放棄についてまでの6件を一括して採決いたします。

議案第40号及び議案第42号から議案第46号までの6件については、各委員長報告はいずれも原案可決であります。

お諮りいたします。議案第40号及び議案第42号から議案第46号までの6件については各委員長報告のとおり決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

◎議長（久保田哲生議員）

異議なしと認めます。よって、議案第40号及び議案第42号から議案第46号までの6件については、原案のとおり可決されました。

次に、日程第3、議案第48号、平成29年度美馬市一般会計補正予算（第7号）を議題といたします。

本件については、本日市長から提出された議案であります。提案理由の説明を求めます。

◎市長（藤田元治君）

議長。

◎議長（久保田哲生議員）

藤田市長。

[市長 藤田元治君 登壇]

◎市長（藤田元治君）

ただいま、上程をいただきました議案第48号、平成29年度美馬市一般会計補正予算（第7号）について、ご説明をさせていただきます。

お手元の平成29年度美馬市一般会計補正予算書（3月議会定例会提出議案（追加）の1ページをお開き願います。

平成29年度美馬市の一般会計補正予算（第7号）は、第1条歳入歳出予算の補正のとおり、歳入歳出の予算の総額に歳入歳出それぞれ500万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ212億8,700万円とするものであります。

この案件につきましては、先般、市役所庁舎の南館の外壁タイルの一部が剥がれ落ちましたことから、外壁の全面的な調査を実施した結果、そのほとんどは直ちに落下するという状態ではないものの、修繕が必要な箇所が点在していることが確認できました。

このため、このたびの補正予算は、早急に対応する必要があります安全対策ネットの設置等、また、外壁修繕工事の設計等の業務を委託するための経費といたしまして、総額500万円を計上させていただいております。このうち、設計等の業務には修繕工事の実施設計だけでなく、その前段に事業の長期的な経費についても検討するため、複数の修繕工法の提案のほか、工法ごとの約10年間に見込まれる維持管理などの経費の概算の算出といった資料の作成も含んでおります。

また、現在、市役所庁舎南館の周辺には、簡易バリケードを設置するなどの対策を講じているところではございますが、この予算案件のご可決を賜りましたならば、特に安全対策ネットの設置につきましては、迅速な対応をいたしたいと考えております。

なお、設置の際には、市役所に来庁されます皆様方には、騒音や通行などにつきましてご迷惑やご不便をおかけすることとなろうかと存じますが、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いをいたします。

原案のとおり、ご可決を賜りますようお願いを申し上げまして、提案理由の説明とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

◎議長（久保田哲生議員）

以上で提案理由の説明は終わりました。

これより質疑に入ります。ただいまのところ、質疑の通告はありませんので、質疑なしと認めます。これをもって質疑を終結いたします。

お諮りいたします。ただいま議題となっております議案第48号については、会議規則第37条第3項の規定によりまして、委員会付託を省略いたしたいと存じますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

◎議長（久保田哲生議員）

異議なしと認めます。よって、議案第48号については、委員会付託を省略することに決しました。

これより討論に入ります。

ただいまのところ、討論の通告はありませんので、討論なしと認め、討論を終結いたします。

これより採決いたします。

お諮りいたします。議案第48号については、原案のとおり決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

◎議長（久保田哲生議員）

異議なしと認めます。よって、議案第48号は、原案のとおり可決されました。

次に、日程第4、閉会中の継続調査についてを議題といたします。

お手元にご配付をいたしておりますとおり、閉会中の継続調査について、申出書が提出されています。

お諮りいたします。継続調査については、各委員長の申出書のとおり、それぞれ閉会中の継続調査に付することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

◎議長（久保田哲生議員）

異議なしと認めます。よって、継続調査については、各委員長の申出書のとおり、それぞれ閉会中の継続調査に付することに決定をいたしました。

次に、日程第5、議員派遣の件についてを議題といたします。

お諮りいたします。地方自治法第100条第13項及び美馬市議会会議規則第167条の規定により、お手元にご配付のとおり、議員派遣することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

◎議長（久保田哲生議員）

異議なしと認めます。よって、お手元にご配付のとおり、議員派遣することに決定をいたしました。

ただいま議決されました議員派遣に変更がありました場合の措置については、議長に委任されたいと思います。

以上をもちまして、本定例会に付議されました事件は全て議了いたしました。

閉会に当たり、市長よりご挨拶をいただきます。

◎市長（藤田元治君）

議長。

◎議長（久保田哲生議員）

藤田市長。

[市長 藤田元治君 登壇]

◎市長（藤田元治君）

平成30年3月美馬市議会定例会の閉会に当たりまして、一言ご挨拶を申し述べさせていただきます。

本定例会も本日最終日を迎えました。議員各位におかれましては、市政各般にわたり終始熱心にご審議を賜り、提案をいたしました議案につきましては、全て原案のとおりご可決をいただき、厚くお礼を申し上げます。

ご審議を通じまして、議員各位から賜りました数々の貴重なご意見、ご提言につきましては十分に検討いたしまして、今後の市政運営に反映させてまいりたいと思っております。

最初に、徳島県西部2市2町の急傾斜地農法であります「にし阿波の傾斜地農耕システム」が、先週の9日、国際連合食糧農業機関の世界農業遺産に認定をされました。このたびの認定につきましては、県西部の2市2町や徳島県などで構成をする徳島剣山世界農業遺産推進協議会において取り組みが進められてきたものでありまして、中国・四国地方では、これが最初の認定となるものでございます。

このたびの認定を契機といたしまして、本市の中山間地域の国内外への知名度が上がり、本市で進めております農林漁家民泊や体験型観光などの施策について大きな後押しになるものと存じますので、今後は一般社団法人美馬観光ビューローとの連携を図りまして、いわゆる「儲かる観光」につながるよう取り組んでまいりたいと考えております。

なお、急傾斜地という厳しい立地条件の中での伝統農法が世界的な評価を受けたことは誠に喜ばしい限りではございますが、伝統農法を守っていくための後継者の確保につきましても、しっかりと取り組んでまいりたいと考えております。

次に、地域交流センターの愛称につきましては、応募総数978件の中から、今月の2日及び9日の2回開催された選定委員会におきまして選定をいただきました「ミライズ」に決定をいたしました。

この「ミライズ」という愛称は、英語の「me」と「rise」を掛け合わせた造語で、「me」私たち市民一人ひとりが、「rise」飛躍していく、という意味が込められたものであり、正に「美来創生のまち美馬市～一歩先の確かな未来～」を実現するための第一歩にふさわしいものであると確信をしております。

地域交流センター「ミライズ」は、本年5月12日には落成記念式典をとり行いますが、県西部の中核拠点としてのにぎわいを生み、更には市民の皆様方を始めとする沢山の方々の交流の拠点として、最大限ご活用いただけるようお願いを申し上げます。

次に、交流会館ブルーヴィラ穴吹のリニューアルオープンにつきましては、来月、4月20日の午前にオープニングセレモニーがとり行われ、当日の午後からは一般のお客様にご利用いただける予定であるとお聞きしているところでございます。新たな指定管理者であります株式会社喜代美山荘によりまして、交流会館ブルーヴィラ穴吹を沢山の方々にご利用いただき、地域の活性化につながるよう、大いに期待をいたしております。

ただいま申し上げましたように、今年4月以降、交流会館ブルーヴィラ穴吹のリニューアルオープンを皮切りに、地域交流センター「ミライズ」や道の駅「みまの里」といった本市のにぎわいの創出につながる大型施設が次々にオープンをいたします。

また、こうした施設のオープンとともに、本市の観光地域づくりをリードする一般社団

法人美馬観光ビューローが、いよいよ4月1日から本格的な営業を開始をいたします。

来るべき平成30年度が、正に本市の新時代の幕開けの年、いわゆるエポック・メイキングの始まりの年となりますように、これらの施設や組織といったものの恩恵を市民の皆様お一人おひとりに実感していただけるよう、創造的実行力を持って、あらゆる施策に総力を挙げて取り組んでまいりますので、よろしくお願いを申し上げます。

ここで、有限会社ミマコンポストについて、ご報告申し上げます。

ミマコンポストは、美馬市、つるぎ町、美馬農業協同組合、飼育委託業者、養鶏農家といった地方公共団体と民間企業との共同出資によります、いわゆる第三セクターとして設立をされた法人でございまして、市内の養鶏農家などから出される鶏糞を堆肥化する事業が行われているところであります。

しかしながら、その原料となります鶏糞の入手が難しくなったため、平成30年度から運営が困難になることが見込まれますことから、本年1月26日に開催をされました役員会におきましては、今後の方向性を協議した結果、解散やむなしとの結果に至りました。ミマコンポストは、これまで有機堆肥を生産する会社といたしまして、地域の有機農業経営に貢献し、皆様からご支援をいただいておりますが、本日の午後に開催をされます臨時株主総会におきまして、解散が決議される見通しでございます。

今後は、早期に清算が终えますように、市といたしましても可能な限り協力をしてまいりたいと考えておりますので、どうかよろしくお願いをいたします。

さて、来月には任期満了に伴います市議会議員一般選挙が執行される予定でございます。

議員各位におかれましては、本日閉会を迎えております今議会が任期最後の定例会となりますことから、感慨深いものがあるかと拝察をいたしております。

とりわけ、今任期をもちましてご勇退をされると伺っております議員さんにおかれましては、その高い識見と、卓越したご手腕をもちまして、市勢の発展と市民福祉の向上に力を尽くしてこられましたこと、そして今日までのご指導、ご協力、ご鞭撻に対しまして、心からお礼を申し上げます。今後の人生に幸多からんことをご祈念申し上げますとともに、今後とも、市勢発展のため、それぞれのお立場から更なるお力添えを賜りますよう、よろしくお願いを申し上げます。

一方、引き続き市民の皆様のご負託を受けられることをご決意されている議員各位におかれましては、どうか新たな信任を得られまして、再びこの議場でお目にかかり、本市のまちづくりのキャッチフレーズであります「美来創生のまち美馬市～一歩先の確かな未来へ～」を実現するため、ご支援、ご協力を賜りますよう、心からご祈念を申し上げたいと思っております。

結びとなりますが、皆様方のますますのご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げますとともに、報道機関の皆様方のご協力に対しましても、厚くお礼を申し上げまして、閉会のご挨拶とさせていただきます。

本当に、どうもありがとうございました。

#### ◎議長（久保田哲生議員）

平成30年3月美馬市議会定例会の閉会に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

議員各位におかれましては、去る2月21日の開会以来、本日まで21日間にわたり、終始ご熱心にご審議を賜り、全ての案件を議了いただきましたことを、厚く御礼を申し上げます。市長を始め理事者各位におかれましては、審査過程において議員各位から表明されました意見や要望を今後の市政運営に十分反映されますよう、お願いをいたすところでございます。

私ごとでございますけれども、平成28年5月第1回美馬市議会臨時会におかれまして議員各位から議長にご推挙をいただき、本日まで無事議長職を務めることができました。これも議員各位の温かいご支援とご協力、また、藤田市長を始め、理事者の皆様方のご指導、ご協力により、なし遂げることができたものであります。心から厚く御礼を申し上げます。

さて、先程市長からのご挨拶にもありましたが、今年は美馬市議会議員の改選期であります。引き続き立候補されます議員各位におかれましては、来月執行されます美馬市議会一般選挙によりまして、再び市民の負託を受けられ、本市の発展のために更なるご活躍をいただきますことをご祈念申し上げます。

また、今期を最後に勇退される皆様、これまでのご活躍とご尽力に対し、敬意を表しますとともに、健康に留意されまして、今後も美馬市と美馬市議会の発展のためにご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げます。

そして、今年度をもって退職される説明員の方々、大変お疲れでございました。これまでのご功勞に対し、敬意を表します。退職されました後もこれまでの経験を生かし、引き続き市勢発展や地域の活性化にお力を発揮していただきたいと存じます。

結びに当たり、藤田市長を始め、職員各位の更なるご活躍、また、美馬市の大いなる発展と市民の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます、ご挨拶に代えさせていただきます。

大変ありがとうございました。

これもちまして、平成30年3月美馬市議会定例会を閉会といたします。

大変お疲れでございました。

閉会 午前10時44分

会議の経過を記載し、その相違ないことを証するためここに署名する。

平成30年3月13日

美馬市議会議長

美馬市議会副議長

会議録署名議員 14番

会議録署名議員 15番

会議録署名議員 16番